

# 高齢者虐待防止セミナー開催！

平成30年10月30日（火）、グランドパレス川端を会場に「高齢者虐待防止セミナー（主催：社会福祉法人大仙ふくし会/大曲仙北老人福祉施設連絡協議会）」を開催し、大曲仙北地域の高齢者福祉施設や在宅支援に関わる職員や養護者等約150名が参加しました。



第1部では、東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科准教授で認知症介護研究・研修仙台センター主任研究員である吉川悠貴氏を講師に迎え、「地域で守る高齢者の尊厳～虐待防止に向けた場づくり～」をテーマとした講演がスタート！線引きと不適切ケア、身体拘束と高齢者虐待、目標設定、ケアの質を支える2つの質、養護者虐待の予兆察知と未然防止等をキーワードにしたお話や問いかけに対して、大きく頷きながら日頃のケアや体制を振り返る姿が印象的でした。



第2部では、引き続き吉川先生を講師に「一人ひとりの尊厳を守るために私達ができることは？」をテーマとしたグループワークを行いました。チェックリスト、認知症に関する事例、ビデオ映像を通した3つのワークに対して、わきあいあいと意見交換したり施設での取組状況を情報交換したりしながら学びを深めている様子、また今後のケアについて思いを馳せたり取り組んでいきたいことを伝え合う様子が見られました。

参加者に記入頂いた振り返りシートには、「自分のケアを振り返ることができた」「グレーゾーンに隠れている問題をどう考えるかでより良いケアができると感じた」「その場しのぎの介護ではなく、その人が安心して暮らしていける介護をしたい」「虐待に繋がる前の対応が重要であり、個人で解決するのではなく職場での話し合いの重要性に気づいたので取り組んでいきたい」といったより良いケアの実践に向けた思いが多数綴られていました。今後ますます個人、チーム、施設での実践が積み重ねられていくことを願っています。